

議 事 録

会議名	令和5年度川西市総合教育会議(第1回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年7月22日(土) 10時00分から12時00分		
開催場所	北陵公民館(川西市丸山台1丁目5番地の2)		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、佐々木委員	
	関係職員	作田企画財政部長、中西教育推進部長、飯田企画財政部副部長	
	参加者	10名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加	
	事務局	企画財政部政策創造課 稲治課長、松永課長補佐、上田主任、三嶋 教育推進部教育政策課 的場課長 教育推進部教育保育課 岡坂担当課長、榎本主査	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
市長	総合教育会議の趣旨は市と教育委員会が教育に関して議論する場です。教育大綱策定にあたり、みなさんからさまざまな意見をいただくためにこのような形での開催としました。事前に各中学校と養護学校に伺い、児童・生徒との意見交流会を実施しました。教育というと幼児教育から生涯教育と幅広いため、この場では前半に意見交流会で提案を受けたテーマと、後半に自由テーマで対話をさせていただきます。
教育長	市長部局とは別に教育委員会は教育長である私を含め5人で構成されています。本日はそこから3人が出席しています。
坂本委員	川西市でこどもを4人育ててきました。スポーツ少年団など地域との関わりがあるため、みなさんのご意見を聞けることを楽しみにしております。
佐々木委員	川西市在住で中学生のこどもを一人育てています。
事務局	(以下の説明) <ol style="list-style-type: none"> 1.事務局よりお願いとお知らせ 2.本日の流れの説明 3.テーマ設定のいきさつについて <p>【テーマ1:部活動について】</p>
市長	子どもたちからの意見を聞くためにタブレットでアンケート実施しました。その中から挙げられてきた意見をもとに考えていきたいと思っています。意見交流会では生徒からの提案を受けて意見を交換しました。結論を出すというわけではなく、今後も検討することとしています。部活動については生徒、保護者によって考え方の幅があるため今回のテーマとしています。
教育長	部活動については安全面、教職員の勤務時間超過が課題となっています。数年前に部活の休日、活動時間、朝練禁止などについて部活動の方針示しています。部活動の意義は重要ですが、制度設計が曖昧であることが問題と思っています。 顧問である教員は、部活について専門的に学んでいません。部活動自体は教育課程に位置付けられているものではなく、制度が曖昧です。 国が勤務の適正化と専門性の強化のため、部活動の社会移行を謳っています。今後、社会移行していく方向性で検討し、移行できる部活動を選択していきます。目標としては3年を目処に検討していきます。
市長	部活については変わらざるを得ない状況にあります。みなさんがどう考えているのかお聞かせください。
参加者	生徒の声として示されている意見は、こういう意見が多かったという理解でいいですか。生徒の声の中に部活の外部移行に反対する意見がないため、確認をさせていただきます。
市長	意見交流会でこのような提案があったということで、部活の時間についての意見は必ずしも多

発言者	発言内容等
	数の意見というわけではありません。
参加者	文科省はどういう教育指導をしていますか。また、部活の顧問はどういう資格をもった人がなっていますか。
教育長	顧問は学校の教職員で1部活2名程度で、外部指導者を入れている場合もあります。文科省は特に部活動について特段明記しているわけではありませんが、今後、学習指導要領の改訂で明記される可能性があります。
参加者	部活には何割の生徒が入っていますか。部活動の加入の有無は内申点に影響しますか。
教育長	部活の加入率は、中学校全体でおよそ78.8%です。 内申点については、顕著な成績を収めた場合等は記載していますが、その基準は曖昧です。記載については部活に限らず、ボランティア活動なども対象となります。部活の有無が合否に大きく左右するものではなく、成績に加点がつくものでもありません。
参加者	部活には文化部もありますが、今課題となっているのは運動部であるということですか。文化部を含め、部活数と生徒数、先生の数はどうなっていますか。少年スポーツで子どもたちの活動時間長いと感じていて、体調面が心配です。地域のクラブチームと中学校の部活動と連携がありません。地域移行ではボランティアが土日に集まらないのではないのですか。
教育長	東谷中は文化部が2.3ほどあります。文化部にも苦しさがあり、顧問の勤務状況は運動部と変わりません。部活の数は教員の数の減少に伴い減ってきていて、廃部になっている部活もあります。顧問の専門的な知識が不足してるので部活の存続が難しいです。生徒の減少に伴い、試合等に人数が必要な部活は減ってきています。 部活動の「地域移行」という表現は誤解を与え、地域の負担が大きいのではという意見ができました。社会移行には民間やNPOなどいろんな受け皿があります。小学校と中学校では参加できる種目に差異がありまして、経験が分断されていましたが、クラブチームからであれば小学校から中学校でも経験を継続できると考えています。社会移行により新しいスポーツの参入ができるとも考えています。 部活動の時間については時間を制限してしまっていて、熱中症指数(WGBT)31以上になったらやめるようにしていますが、社会教育については徹底されているかは不透明です。
市長	当事者も受入先も不安に思っていることがありますので、ひとつの形をみんなでつくっていく必要があります。
参加者	昨年、中学校に航空分野のゲストティーチャーとして招いてもらい、講演を行いました。大きな反響がありましたが、川西市ではこの取り組みを継続させていく受け皿がなく、経験が途切れてしまっています。ポテンシャルを持っている子どももいるため、今後の取り組み方法についてどのような考えを持っているのかお聞きしたいです。
教育長	学校運営協議会を中心に、子どもたちの経験を増やすための方法を考えています。子どもが継続して学ぶことを選べるように部活動にさせていただくのはとても良いと思いますので、スケジュールや内容を考え、応募していただきたいと思います。他にもプログラミングや弓道などを教えた

発言者	発言内容等
参加者	<p>いという声も聞いています。</p> <p>3年間ひとつの部活を続けることも大事ですし、いろいろな経験をすることも大事です。今ある部活動も継続できるように方法を考える必要があります。</p> <p>私は学校運営協議会の役員をしています。生徒が選択できること、選択肢を増やすことが大事であると思っています。今は子どもたちの声あまり地域に届いていない現状があります。実施されたアンケート結果を地域に公開してほしいです。</p> <p>子どもたちのアンケート結果を受けて、地域の方や教職員にアンケートを実施したほうが良いです。子どもたちの部活の受け皿をどうするかを議論するだけでなく、子どもたちが主体的に選択できるような体制をつくってほしいです。子どもたちの声を先に聞いた上で検討すると答えが変わってくると思います。</p>
教育長	<p>アンケート結果は今後、保護者や地域の方へ公開させていただきます。専門的に指導を受けたいということに関しては、教職員だけでは難しいです。教職員の勤務としては、部活動の時間は勤務時間を超えていますので、17時下校にすることを検討しています。もっと部活をしたい子、早く下校したい子もいますので、そこには難しさがあります。</p>
市長	<p>子どもたちがどう考えているのかを確認したいと全中学校と特別支援学校での意見交流会を実施しました。地域ごとに方法が違って良いと思いますが、教職員の勤務は守っていかないといいけません。子どもが中心になるようにやり方を考えていきます。</p>
参加者	<p>部活の地域移行について現時点でうまく移行できると感じていますか。人が集まらなかった場合や、委託したら今よりお金がかかるという不安があります。</p>
教育長	<p>現時点では模索しながら進めていくしかないと思っています。水泳のようにスイミングスクールに通っていることが主流になっている種目がありまして、他にも卓球や剣道など民間に移行しているところが部活動の受け皿になってほしいと思っています。</p> <p>教職員が顧問をやることで部活の費用負担は少なく済んでいましたが、社会移行により保護者の費用負担が増える可能性があります。社会移行の受け入れ先については費用を抑えるところ、質を求めるところなどで分かれる形になると思います。経済的に厳しい家庭については補助や援助は考えていきます。</p>
市長	<p>部活の費用については、税金、ボランティア、利用者が負担するかの3択しかありません。現状のような各学校で費用負担が少なく、質が保たれている部活の体制は変わっていく状況にあります。今後は部活動について費用と質のバランスを考えていかないといいけません。</p>
市長	<p>テーマ2:自転車通学について</p> <p>現在は通学距離が6km以上の場合に定期代を補助しています。意見交流会では、定期代の補助ができないのであれば自転車通学を認めてほしいと提案を受けました。自転車については地域の課題でもありますし、保護者の方の理解も必要です。</p>
教育長	<p>近隣市で自転車通学を実施しているところもありますが、川西市は高低差がありますので、安全面に注意が必要です。部活の社会移行にも関わりますが、部活動の活動時間を確</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>保するためにも、移動方法の確保が必要です。安全指導や駐輪場の課題はありますが、積極的に推進していくべきではないかと考えています。</p> <p>これまで禁止していた自転車通学について今後前向きに検討していく状況になっています。子どもたち自身も安全面は危惧していますので、地域の方の理解を得ながら進めていく必要があります。</p>
参加者	<p>電車通学をしていますので定期代を補助してほしい、自転車通学を認めてほしいと思っていました。自転車通学を認める場合は、駐輪場のスペースがないと聞いていますが実現できそうな話なのですか。</p>
教育長	<p>自転車通学を認めるにあたり、駐輪場の場所の問題はあります。根本的な部分として、全ての子どもに自転車通学を認めるのか、通学距離や各事情に応じて許可制とするのか検討していく必要はあります。安全面では一庫に設置されているような自転車レーンの設置が望ましいと思います。課題は多いですが市長部局と相談しながら進めていきたいと思っています。</p>
市長	<p>駐輪場の建設などできることは協力していきます。自転車通学認めることに関しては、反対の意見も確認していく必要があります。</p>
参加者	<p>自転車通学がこれまで認められていなかったのは、何が弊害だったのか教えて欲しいです。</p>
教育長	<p>安全面が一番大きいのではないかと考えています。実際、高校生でも自転車マナーが悪いという地域の声もあります。安全面を配慮の上で考えていきたいと思っています。</p>
市長	<p>行政としては許可した後に事故等があることを危惧しています。問題を洗い出しながら検討していきたいと考えています。</p>
参加者	<p>電車通学をしている子どもについて、地域柄車での送迎が多いので電車乗り慣れていない子が多いです。学校に苦情も寄せられているようですので、電車に乗るマナーの指導が必要だと思います。</p>
教育長	<p>当該校長とは話しをしまして、指導していることは確認しています。基本的に指導はしていますが、ご指摘の意見は共有させていただきます。</p>
参加者	<p>自転車の通行に関して道交法はどうなっているのかなど、交通ルール守るために交通ルール自体を根本から明確にしていく必要があります。</p>
市長	<p>交通ルールについては大人もちゃんと守れていませんので、中学生に限ったことではありません。自転車通学を許可するにあたり、通学時のルール作りや知識、情報を学ぶ必要があります。この点は交通安全を管轄する部局にも伝えさせていただきます。</p>
参加者	<p>自転車での事故は数千万円の賠償となるような話もありますので、そういう視点も注意して慎重に進めていただきたいです。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>自転車通学が主な議論になっていますが、定期代の補助について改めて議論してほしいです。定期代補助の基準も見直されていませんので、時代に合わせて見直しが必要です。公共交通の維持も求められる中で、生徒の通学利用が一定の役割を果たしていますので、通学方法の切り替えは公共交通の維持にも影響がでます。ふるさと納税では地域単位で行うことができますので、東谷地区へのふるさと納税で補助等の財源にするような取り組みを進められないかと思えます。</p>
市長	<p>地域特性がある課題でもありますので、地域の提案に対して協力していく体制を検討します。それぞれの地域の意見と財源も踏まえて引き続き協議していきたいと思えます。</p>
市長	<p>【自由テーマ】</p> <p>他の学校であがったテーマとして、少人数学級、長期休暇、給食、授業などがあります。大人たちが子どもたちのために行っていることでも、子どもたちは別の考えを持っていることがあります。他の学校のテーマについてや、みなさんが個別に考えられていることをお聞かせください。</p>
参加者	<p>教師の負担について、事務作業が多すぎるという問題があると思えます。教師が求めているのは残業代ではなくて、とにかく現状の業務がしんどいため改善してほしいという話があります。教師が行う必要がない事務作業を外部に委託し、業務量を削減していく必要があるのではと思えます。また、事務作業が減ることにより、教師が子どもに向き合える時間が増えて、部活動の担い手が増えるのではと思っています。</p>
教育長	<p>教育現場や教育委員会の事務量は多いので、デジタル化を含め事務の削減を進めています。ただ、事務の内容が多岐にわたるため、やりながら進めていきたいと思えます。スクールサポートスタッフは全校配置、給食の公会計などの取り組みで負担軽減進めています。</p> <p>ほかにも、地域の方やゲストティーチャーなどの教員以外から学ぶ機会も増やしたいと思えます。また、教職員のマネジメント能力も高めないとはいけません。ご指摘の通り、残業代を増やすという賃金の問題ではないと思えますが、国は勤務時間の調整費を増やす方向で進んでいます。</p>
市長	<p>スクールサポートスタッフの費用は国と県で負担するのが通常ですが、兵庫県では3分の1の学校分しか負担されていませんので、3分2の学校分を市費で負担し配置しています。教員の皆さんは、子どものために一生懸命働いています。教員が丁寧に業務を行ってもらうのは素敵なことですが、勤務時間を超えて作業を行っている場合は持続できませんので、一定のラインを決める必要があります。また、勤務時間内で業務ができるように地域や保護者の理解も必要です。</p>
参加者	<p>吹田市の教育委員会が君が代を暗記しているか確認していることについて、大阪の教育委員会が君が代の起立斉唱を指導をしている件についてどう考えていますか。また、生成AIの裁量についてはどう考えていますか。</p>
教育長	<p>君が代についてそれぞれの内心の自由によるところでよいと考えています。</p> <p>生成AIの活用にはルールは必要ですが、新しいものは使っていけるようにします。ネットの普及と同じで、新しい方法が出てきた時にルールを設けながら活用していくべきだと思えます。自分でやらないといけなことを生成AIにさせるのではなく、情報を得る手段など活用する方法を考える必要があります。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>保育料に関しては3歳未満はまだ負担がかかっています。近隣市と比較して少し高いので、改善してほしいです。</p> <p>タブレットの活用をどうするのか教えて下さい。欠席者を自宅でリモート授業している自治体もあると聞いていますが、川西市では導入されていません。地域間の格差を感じることがありますので、レベル感をそろえていただきたいです。</p>
市長	<p>保育料は、所得区分によって他市と比較して有利な面もありますので、一概に高いという状況ではありません。費用負担は議会からも問題提起をいただいていますので、検討していきたいです。</p>
教育長	<p>タブレットは学校間の差があるのは事実であるとは思っていますが、比較的活用が浸透してきていると感じています。タブレットで学力向上につながるまでは言えませんが、積極的に活用していきたいです。家庭学習にも活用できますので、学校には確認してまた推進していきたいです。</p>
坂本委員	<p>部活動は家庭内でも子どもによって考え方が違いました。部活が無くなるかもしれないという事に関しては考え方が違うため、いろんな意見があると思います。今回のようにさまざまな声を聞かせていただくことが大事だと思いました。</p>
佐々木委員	<p>憲法では幸福を追求する権利が保障されています。意見交流会の際に市長が中学生に教育の目的は幸せになるための力を育てることだと話され、これは私も大事なことだと思っています。</p> <p>公務員であれば余計に労務管理をしっかりとしないといけません。教職員の幸福も、子どもの幸福も追求できるようにしていきたいです。これからもこちらの取り組みをしっかりと発信していきたいです。</p>
教育長	<p>昨今、個別最適な学び、協働的な学びの重要性が大事になってきています。現在のような一斉授業が難しい社会になってきています。すべての事柄をすべての子どもに共通して学ばせる必要がどこまであるか考える必要があります。</p> <p>タブレットも一人1台ありますが、みんなで共通の画面見ているのでは意味がありません。それぞれに応じた学びのツールになるのがタブレットの役割ですし、それぞれに応じた学びを進めていかないとはいけません。</p> <p>教育課程の自由度をもう少し増やして、子どもが自分で選択できる学校にしていくため、学校を見直していかないとはいけません。また、この動きは保護者の方にも理解していただかないといけないと思っています。</p>
市長	<p>教育大綱を策定のため、子どもたち、地域の方、保護者の方の意見を確認させていただくためにこの機会を設けました。教育の目的は自分が幸せになること、他の人を幸せにすることであると意見交流会で説明してきました。</p> <p>コロナ禍での教育に関する判断に関してはたくさんの意見をいただきました。判断するにあたっては子どもたちの意見を大切にすることが必要です。</p> <p>それぞれの思いを一人ひとり個別に要望していくのではなく、先生や地域の方、保護者の方で話し合っただけ意見をまとめて要望していくことが大事だと思っています。</p>